

共同アピール(案)

次期衆議院選挙で、高齢者のいのち・健康・人権を守る政治を実現し、
75歳以上医療費窓口2倍化を中止に追い込もう！

本日開会の臨時国会において首班指名が行われ、岸田文雄自民党新総裁が内閣総理大臣に選出されます。この間行われた自民党総裁選挙勝利後の自民党役員人事では安倍前首相の側近が重要ポストに起用されています。このことから本日発足の自公連立の岸田内閣は、まさに「森友・加計・桜・学術会議疑惑の解明に背を向ける」「憲法改定の推進」が更に推し進められる内閣となることは明白です。一方「市民連合」と野党4党が「共通政策」に合意した後、日本共産党と立憲民主党が現政権を倒した後の「新政権」において協力することが合意されました。

わたしたちは、次期衆議院選挙で、高齢者のいのち・健康・人権を守る政治の実現めざし、市民と野党の共闘の力で新しい政治を実現し、これまで行われてきた、「医療費削減」「全世代型社会保障制度」を見直し、来年9月以降実施予定の75歳以上医療費窓口2倍化を中止に追い込むため、以下の点の活動をすすめることを本日開催の「10・4 高齢者のいのち・健康・人権を守る政治へ転換めざす学習決起集会&国会議員要請行動」で確認しました。

- ①この法律の当事者である高齢者がまず法律の問題点をしっかりつかみ。今回2倍化の対象となる対象者は370万人はもちろん、高齢者全員に訴え宣伝と署名を集める運動を進めます。いのち・くらしを守り社会保障・福祉の拡充を訴える「いのち署名」(全労連・中央社保協・医団連・医療3単産)とセットで取り組みます。
- ②現役世代には、政府が進める「全世代型社会保障政策」の問題点、特にコロナ禍の中で起こっている「医療崩壊」などを例に、医療は社会全体の共通資本であり、必要度に応じて誰もが分け隔てなく、平等に享受できるようにすべきであることを訴え、医療費の窓口負担はゼロが世界水準であることを訴えます。
- ③2倍化で起こる高齢者の生活実態、当事者の生の声を発信し伝えます。
- ④衆議院選挙立候補の全議員、候補者事務所へ要請書を届け、わたしたちの要望を選挙の政策にするよう要請します。
- ⑤選挙の中で、75歳以上医療費窓口2倍化中止の一点であらゆる団体、個人へ運動の賛同の呼びかけを強めます。75歳以上医療費窓口2倍化中止一点での協力とともに、自公政権が推し進める全世代型社会保障政策に反対し、さらに、老人クラブや、団地の自治会、高齢者のサークル等に幅広く呼びかけ、いっしょにとりくんでもらうよう呼びかけます。
- ⑥署名目標は2022年3月末までに350万筆です。衆議院選挙後の通常国会開会までに目標の50%を集めることを目指します。

2021年10月4日

高齢者のいのち・健康・人権を守る政治へ転換めざす学習決起集会
医療団体連絡会議・中央社会保障推進協議会
全日本年金者組合・日本高齢期運動連絡会